

LINK-Jは、次の10年に向けたビジョン・ミッションを策定しました。

ビジョンを実現していくために、ミッションに掲げる「コミュニティの形成」、「イノベーション支援」、「トレンド発信」を活動の軸に、専門性の高いコミュニティの創出や多様なプレイヤーの連携促進を通じ、共創の連鎖を広げていきます。また、設立10周年の節目にあたり、正式名称を「一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン」から「一般社団法人LINK-J」へ変更いたします。

ビジョン

日本から、
ライフサイエンス・
イノベーションの
次のうねりを



挑む人がつながり、知が循環し、資金がめぐる連鎖をつくり出し、世界が希望を抱くイノベーションが絶えず生まれるための進化を。LINK-Jは、エコシステムに次の「うねり」をつくりだす触媒として、オープンイノベーションを加速し続け、ライフサイエンスの未来を、日本から世界へと社会実装していきます。

ミッション

社会実装の
カタリストとして、
ライフサイエンスの
未来をつくりだす



- テーマに沿ったコミュニティ形成・活性化支援により、協働・共創を加速する
- イノベーションに挑む人を支援する
- 多様なプレイヤーの声を広く発信し、未来創造の起点をつくりだす

連載コラム

MIYAMAN'S COLUMN



クリティカル・マスを越えて、LINK-Jの次なる挑戦

LINK-J、創立10周年おめでとうございます。2006年に播かれた小さな種が、今や東京だけでなく、大阪府、神奈川県、欧米まで合わせて多くの自治体や団体が連携し、次世代のわが国の成長産業を支援する巨大なバイオ・ネットワークとして成長しつつある。今朝もLINK-Jのサロンで、偶々出会った顔見知りのアントレプレナーと情報交換したところだ。ここでは最新の情報に加え、社会を変革し、輸入超過の製薬産業をなんとか立て直し、わが国と世界に貢献しようと志を秘めた若者や、心が若い経験豊かな人々と、いつでも出会うことができる稀有な環境がある。

私がLINK-Jの噂を聞いたのは、東京都中央区にバイオのイノベーションの拠点を作るという構想であった。「最初は本当にできるのか？不動産企業がそんな大胆なことができるのか？」と感じたことを覚えている。しかし、その後の発展を見るにつけ、江戸時代から製薬業が集結した日本橋、さらに四通八達する全国の街道の起点という地の利を十分に生かし、今や世界最大の産業に成長した製薬・バイオ産業を駆動するエコシステムが、確かに形成されつつあると感じている。これまで欧米のバイオ・クラスターを幅広く取材してきたが、発展するクラスターには必ず不動産企業が存在していたことを思い出した。しかし、LINK-Jが目指したものは、物理的な貸しオフィスや貸しラボだけではなく、数多のバーチャル・セミナーに加えて、アントレプレナーや弁理士などのプロフェッショナルとの面談を通じた企業支援、さらにはVCバーなど投資家との出会いの場まで提供している。実際、LINK-Jのサポーターを見ると、ベンチャー・キャピタリストやバイオ・ベンチャーの経営者など錚々たるメンバーが参加している。

LINK-Jはそろそろクリティカル・マスを超えつつある段階にあると思っている。今までは外部の力を巧みに取り込みながら成長してきたが、そろそろLINK-Jのネットワークの内部から、新しい生命科学サービスを創成するスタートアップが、連続的に生まれてくることを期待する。1980年10月、上場に大成功しバイオ産業を築き上げた米Genentech社から、まるでホウセンカの種のように次々と次世代のバイオ・ベンチャーが起業したように。そのためには、LINK-Jは常にオープンであり続けなくてはならない。21世紀に入り、技術革新のスピードが加速し、その対象領域も急速に拡大している。10年前、大規模言語モデルのAIが、創業にここまで貢献すると誰が想像していたらだろうか？イノベーションには多様な個人が相互に触発することが不可欠だ。LINK-Jがバイオに軸足を保ちながら、AI、ロボット、宇宙、核融合、量子コンピューティングなど、異分野と触発する仕組みを構築することが、次の10年の課題なのである。

宮田 満氏

東京大学理学系大学院植物学修士課程修了後、1979年に日本経済新聞社入社。日経メディカル編集部を経て、日経バイオテック創刊に携わる。1985年に日経バイオテック編集長に就任し、2015年に株式会社宮田総研を設立、新Mmの憂鬱などメディア活動を開始。2017年、株式会社ヘルスケアイノベーションを設立、2020年6月よりバイオ先端医療関連のベンチャー企業に投資を開始した。厚生労働省厚生科学審議会、文部科学省科学技術・学術審議会、生物系特定産業技術研究支援センターなど、様々な公的活動に従事。

LINK-J NEWS LETTER

LINK-Jと“LINK”する
情報のプラットフォーム



LINK-J
10th

日本から
ライフサイエンス
イノベーションの
次のうねりを

Our History and Growth
2016 >>>> 2026

10年間のあゆみ
そして次のステージへ

Pickup!

LINK-Jは2016年の設立以来、江戸時代から創業の街として発展してきた日本橋を拠点に、日本全国、さらには世界へと連携を広げながら、ライフサイエンス領域における「オープンイノベーションの促進」、そして「エコシステムの構築」に取り組んできました。スタートアップ支援やイベント開催、コミュニティ形成など、

各種プログラム提供を通じてエコシステムの発展に寄与してきたこの10年間は、会員の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆さまのご支援とご協力に支えられてきたものです。本号では、設立10周年の節目を迎えるにあたり、これまでの歩みと成果を年表形式で振り返ります。

2016

LINK-J 設立

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)を設立
日本橋エリアを拠点に、ライフサイエンス分野のオープンイノベーションを推進

「LINK-J設立記念シンポジウム
(第1回再生医療産学官連携シンポジウム)」

日本再生医療学会・FIRMと共催し、山中伸弥氏の特別講演を含む初の大規模イベントを開催



2018

日本橋でライフサイエンス拠点が拡大された

三井不動産が日本橋でライフサイエンス拠点を拡大し、関連施設の整備を推進

シェア型ウェットラボを開設

都心型として日本初となるシェア型ウェットラボを開設し、ライフサイエンス分野の研究開発環境を整備



「メドテック・イノベーションシンポジウム&ピッチ」

スタートアップピッチイベントを初開催

2020

LINK-Jが関西における活動として

「LINK-J WEST」を開始

関西での活動拠点「LINK-J WEST」を開始し、コミュニティ展開を拡大



「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」が開設された

グローバル連携拠点として開設し、日本橋のライフサイエンス拠点は10拠点到拡大

葛西エリアに進出

「三井リンクラボ葛西」が開設された

2022

「アカデミア発メドテックピッチコンテスト」

「Medtech Entrepreneurship
Development Program」を開催

メドテック領域での事業化を検討しているアカデミア、起業家の支援育成プログラム

柏の葉エリアに進出

「三井リンクラボ柏の葉1」が開設された



2024

「LINK-J Conference- R&D × Investment -」
を初開催

製薬企業の研究開発戦略やパイプラインをテーマに議論を実施



UNIKORNプログラムとしてBioEuropeに出展
ストックホルムにて「Japan Night」を開催

BioLabsおよび三井不動産と連携し、
LINK-BioBAY TOKYOの運営を開始

ライフサイエンス領域のスタートアップ支援に向けた協業を開始

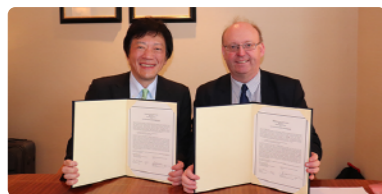


関西エリアに進出

「三井リンクラボ中之島」が開設された

2017

UCサンディエゴ、Biocom California、
One Nucleus等国内外の主要な
ライフサイエンスクラスターとのMOU締結を
開始



2019

「デジタルヘルスセミナー」を初開催

関西医薬品協会等と、関西でのライフサイエンスのさらなる発展を目指しシリーズ開催を開始

三井不動産「賃貸ラボ&オフィス」
(三井のラボ&オフィス)事業を開始

2021

設立5周年を迎え、新たな会員向けサービスを
開始

会員プレスリリースのHP掲載とメール配信、会員間の交流を深める「LINK-J Member's Meetup」開催、
タイアップイベントを開始



2023

東京都のスタートアップ育成支援事業の
「Blockbuster TOKYO」プロモーターに採択

LINK-J、CIC、三菱総合研究所のコンソーシアムとして採択され、創薬・医療系スタートアップのグローバル成長を支えるエコシステム構築を推進

ボストンにて
「Japan Night」を開催

現地のスタートアップ・投資家とのネットワーキングを実施

東京都のスタートアップ支援事業
「TOKYO SUTEAM」の協定事業者に採択

多様な主体との連携による支援体制を強化し、スタートアップ支援プログラム「UNIKORN」を開始

殿町(キングスカイフロント)に進出し、
LINK-Jコミュニケーションラウンジが
開設された

2025

海外拠点2か所が新たに提供開始された

ボストンおよびニューヨークに新たなラウンジ拠点を開設し、海外拠点は計4か所に拡大



2026

会員数が1,000を突破

設立10周年を迎える

社名を一般社団法人「LINK-J」に変更し、ビジョンとミッションを策定



10周年特設ページ

設立10周年を記念し、公式ウェブサイト内に特設ページを開設しました。
これまでの取り組みや関係者の声を順次掲載します。

<https://www.link-j.org/10thanniversary/>

